スキン・イン・ザ・ゲーム：裁量権や責任が欲しいならクビ覚悟で

スキン・イン・ザ・ゲームとは、何かを手にするためには、それを手に入れる事が出来なかった時の代償を支払う立場に居るべきと言う意味です。

例えば、何かの事業に投資をするなら事業が失敗した時の代償として投資したお金が無くなると言う事や誰かにアドバイスをする人ならばアドバイスによって成果が出なかった場合はそれ相応の謝罪や名誉の下落と言うリスクを背負うべきと言う事です。

なぜ、スキン・イン・ザ・ゲームが大事なのか？それは、リスクを共有している立場に無いと、それを成功させようと言う動機に繋がりにくいからです。自分のお金が無くなるかもしれない立場に居れば、投資した物事に対して真剣に向き合う可能性が高まるでしょうし、あなたの名前を使って商品サービスの宣伝をするならば、商品サービスがゴミだった時にあなたの名前も汚れる可能性があるわけで、そうならないように、商品サービスがちゃんとした物となるようにその人自身も努力するでしょう。

そして、多くの若者は言うわけです。裁量権が欲しい、責任が欲しいと。もちろん、人の性。会社であれば、ある程度の責任や裁量権、スキン・イン・ザ・ゲームを社員に与える事でモチベーションが上がると言う事は言わずもがな。しかし、責任や裁量権を請け負うからには、失敗した時にはその代償を支払う覚悟で挑む必要があるのではないでしょうか？それは、「会社の金だから、失敗しても次がある」と言う生半可な精神では、壁にぶち当たった時にその場に座り込んでしまう可能性が高いからです。

スキン・イン・ザ・ゲーム、色んな使い方があるわけで、人にアドバイスを求めるならしっかりと責任を持ってあなたにアドバイスしてくれる人。会社なら社員のモチベーションを上げるためには、責任や裁量権を与える事が大事ですが、それを与えて失敗した時の代償も用意してみてはいかがでしょうか？そうすれば、彼ら彼女らも真剣になるはずです。逆に責任や裁量権が欲しい社員ならば、それを貰う交換条件として失敗した時の代償を用意して上司に直談判すると説得性のある申し出になるでしょう。

最後に、面白い事に時代は変わり、何のリスクを取らずとも、会社に守られ、バイトはいつでもあってと言う時代が終わりを告ようとしています。グローバル化によって外国人があなたの居場所を奪いに、クビを狩りに来日してきています。他にも、バイトからバックれる事なく、仕事に対するやる気やモチベーションの変動も無いロボットもロボット大国になろうとしている日本で着々と生産されています。スキン・イン・ザ・ゲーム、リスク、代償、そして命を削って生き残るためのスキルや能力を磨いて行かないと、この先は何も手にする事が出来ないかもしれません。

